

千葉県高等学校教育研究会

福祉教育部会会報

千葉県高等学校教育研究会

福祉教育部会

事務局

千葉県立松戸向陽高等学校

「ほんとうのさいわい」を求めて

福祉教育部会長 佐久間敦子
(千葉県立松戸向陽高等学校長)

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の中で何度も使われるこの言葉が好きです。ほんとうのさいわい、「福祉」とはこの「幸せ」や「豊かさ」を示す言葉で、福祉教育においては憲法25条の「生存権の保障」、第13条「幸福追求権」の実現が求められます。

福祉教育は「すべての人が、かけがえのない存在として尊ばれ、差別や排除されることなく、社会生活の中でともに支えあい、一人一人が生きていく喜びを感じることができるよう『ともに生きる力』を育むこと」を目標とした教育と言えます。

福祉教育に関しては、家庭科の中で扱われている経緯があり、全国組織としての研究部会も当初は家庭科部会の一部として組み込まれていたものです。介護福祉士の養成校等が各地で設置され、教科「福祉」の認知が進む過程で平成18年度より全国福祉高等学校長会が独立し、福祉担当教員等研究協議会が開催される運びとなったのです。

準備段階である平成15・16年は本校の前身松戸矢切高校木村行幸校長が全国高等学校長

協会家庭部会福祉科校

長会の会長を務め、事務局が置かれました。平成18年度の独立以降は青森県 東奥学園高等学校に事務局が移り高橋福太郎校長が全国福祉校長会の会長として様々な制度改革の中で福祉教育の充実のために尽力されております。

千葉県では、木村校長の後継として大竹頼之校長が18年度の全国組織の独立を受け、千葉県高等学校教育研究部会に申請し、平成19年度正式に福祉教育部会が発足しました。その後渡邊淑規校長が研修会の充実を図り、千葉県内の福祉教育もこれからますます発展していくところです。

情報の共有と職員の研鑽、相互交流を旨とする本部会が、国の動向や社会の要請を踏まえ、本来目指す「すべての人のほんとうのさいわい」を実現するための人材の輩出にますます大きな力となるよう加入各校のご理解とご協力をお願い申し上げます。各校の福祉教育の充実を祈念し巻頭の言葉といたします。

地域社会に貢献する福祉マインドを持った生徒の育成に、手を取り合って前進しましょう。

福祉教育部会 研修会 開催される

冬休みに入った、12月26日に福祉教育部会研修会がポートプラザ千葉にて、5校16名の先生方が参加し開催されました。

情報交換にはじまり、「高校福祉教育に求

めるもの」と題して、日本社会事業大学社会福祉学部准教授の田村真広先生に講演をしていただきました。以下は、その時の内容です。参考にしてください。

☆情報交換

(1) 参加者の勤務校の現状と課題

千葉県立鶴舞桜が丘高等学校、千葉県立君津青葉高等学校、千葉県立松尾高等学校、千葉県立船橋豊富高等学校、千葉県立松戸向陽高等学校の5校から福祉に関する学科およびコースの現状と課題についての報告がなされた。

(2) 介護職員初任者研修課程（仮称）について

＜松戸向陽 鈴木恭太教諭・清水弘恵教諭＞

資料「養成研修課程の見直しに伴う介護保険法施行規則の一部を改正する省令・介護職員初任者研修課程（仮称）カリキュラム（告示）（案）について」参照。この資料は厚労省Webページに掲載されている。

松戸向陽高校では、これを東京私立高校からの情報で知った。確認した時点では、パブリックコメントも締め切られていた。松戸向陽高校も普通科に福祉コースを設置するために、介護員養成研修については教育課程にどう組み込むかを検討していた。この資料は厚労省からの情報で、文科省からの情報はなかった。資料「訪問介護員養成研修課程等の見直しに伴うパブリックコメントについて」は、東京の潤徳学園に東京都福祉保健局から出された事務連絡文書である。この資料では、介護員養成研修がなくなるわけではなく、名称・内容が変更になり、講師要件等は現時点では未定であるとしている。また、千葉県健康福祉部に問い合わせをしたが、千葉県としては平成24年度から検討して、平成25年度から実施していきたいとのことであった。

資料「2. 初任者研修カリキュラムのポイント」によると、初任者研修は介護福祉士科目1,800時間のうちの130時間であり、実務者研修450時間のうちの130時間というシステムである。目指すところは介護福祉士の受験資格取得である。

資料「介護職員初任者研修課程（仮称）カリキュラム（案）」をみると、従前の介護員養成研修課程からの大きな変更点は、

- ・科目名、内容もまったく異なっている。
- ・実習が5日間あったが施設での実習を行わなくてもよい。
- ・「こころとからだのしくみと生活支援技術」に多くの時間が配分されている。
- ・筆記試験による修了評価を実施することが追加されている。

ここから推察するに、実務者研修の一環として介護職員初任者研修を位置づけ、介護福祉士となるための入口としての役割をもつのではないかと考えられる。

質疑：

Q：初任者研修課程は職業資格として認知されるのか。学歴、年齢はどうか。介護福祉士の養成課程では通信教育は認めないのに、この研修課程では認めているのか。

A：憶測であるが、職業資格については採用する側がどうとらえるかによるのではない。また、学歴、年齢制限については現状ではない。通信教育については、実務者研修をやりやすくするためではないか。

（3）平成23年度千葉県高等学校産業教育フェアについて

資料参照。平成23年度千葉県高等学校産業教育フェアについて、平成22年度との比較で説明。反省点を踏まえて、来年度は平成24年8月3日・4日に県立現代産業科学館で実施される予定である。

来年度のポスター募集の呼びかけ、また学校案内の配付でも構わないので、福祉教育部の加盟校は参加してください。

☆講演「高校福祉教育に求めるもの」

日本社会事業大学社会福祉学部准教授田村真広先生

1. 高校福祉教育との関わり、研究に込めた思い

先生は、千葉県出身で高校も千葉県立高校を卒業されていて、お話のなかには、同じ世代としては懐かしい谷津遊園や船橋ヘルスセンターも話題にでた。

また、高卒者の3分の2が非正規雇用で巣立つ現実のなかで、学校から仕事への接続をどう実現するのか、すなわち高校福祉教育におけるキャリア教育をどう充実させるかが研究の大きなテーマとなっている。

2. 高大連携の実践的研究

教育実習指導研究会と称して、大学生の実習先で教員の授業、実習生の研究授業、協議や情報交換会を行い、教科「福祉」の教員が孤立しないように、高校と大学の連携によって刺激し合える方策を実践している。

（他教科と異なり、福祉科教員が学校に一人しかいないという一人職場が多いので、教員の成長が難しい面もある）

田村真広先生！



また、福祉教育活用ノート「KOMI理論で育つ高校生」を授業に取り入れ、「ケアの原形」にもとづく介護＝看護のツールを使用して福祉教育に活用するとともに、高校生の生活指導や進路指導にも役立てようとする試みを実践している。

（「KOMI理論」については、有明医療大学金井一薫先生の著作を参考に）

3. 介護・福祉分野で働き続けてきた卒業生たちの証言

卒業生の状況を実例をあげ、また卒業生の証言から考えると22歳と27歳の転機があるようである。そこで、卒後ケアの視点で卒業生がライフコースをきちんと歩んでいけるように、学生に対して卒業生が国家試験対策や実習指導をサポートするようにしている。また、22歳と27歳の転機を見越した講座や研修を実施する必要があると思われる。

4. 福祉教育に取り組んでいる高等学校

①ケーススタディからの実例

- ・資格は取得しないが実習は行う高校で、大事な社会勉強になるので実習の1週間前に保護者会を開催している。そこで「個人情報の保護」に関してのお願いをし、福祉の専門職としての倫理を理解してもらうようにし、緊張感のある実習を行うようにする。
- ・教科指導とは異なった教員の特技や持ち味を活かした学校設定教科・科目を実施している学校。

例)

□家庭菜園の得意な先生が、農地をつくり健康や食に関することを考える。

□学生時代から知的障がい児とのコミュニケーションや遊び支援をしてきて、それを活かして学校の中に特別支援教室を作りそこで生徒と交わる機会をつくる。

※保護者の実質的な協力、教員の特技・持ち味、地域の社会資源を活かしながら、生徒が挑戦（失敗と小さな成功）と責任を知る機会をつくる。

②日本社会福祉教育学校連盟での調査

福祉系高校だけでなく、981校に「どういう福祉教育をしていますか」というアンケート調査をお願いしている。学校連盟として高大連携のきっかけをつくっていくかの資料としたい。

※いろいろな白書などがあるが、大事なことは保護者、地域、教員の持ち味を活かした学校づくりが鍵となる。初任者研修にしても積極的に高校側から提言していく必要があるのではないか。

5. 提言してきたこと

「高校福祉科卒業生のライフコース」の調査から提言してきたことは、

- (1) 幅広い教養と福祉マインドを着実に身につける高校教育課程を編成する。
- (2) 高校での日常生活の意義を再認識し、達成感・充実感を味わう機会を創造する。
- (3) 進学志望を満たす教育内容を充実させる。
- (4) 堅実な離・転職を想定し、志望する職種・職場へとつなぐ。
- (5) 福祉分野で働き続ける人々の実態を見極め、待遇・環境を改善する。
- (6) 高校福祉科卒業生の経験を活かした卒後ケアを開発・発展させる。
- (7) 持ち味を活かして連携し、国民的財産としての高校福祉科を支援する。

〔詳細は、講演レジュメを確認してください〕

第13回 福祉教育研修講座

職業としての福祉 教養としての福祉 ～改めて『若者が福祉を学ぶ意味』をともに考える～

主催：社団法人 日本社会福祉教育学校連盟

1月7日～8日にかけて、第13回福祉教育研修講座が東洋大学白山キャンパスで開催された。この講座は、財団法人社会福祉教育学校連盟の主催で、全国各地から福祉教育に携わる高校と大学等の教員が一堂に会し、各回のメインテーマに係る研修を受講し、日々

の教育実践研究の改善に資するとともに、両者が交流を深める機会となっている。

今回のメインテーマ「職業としての福祉 教養としての福祉～改めて『若者が福祉を学ぶ意味』をともに考える～」で、150名以上が参加して1日半の研修が行われた。この

講座のおおまかな内容を紹介します。

☆第1日(1月7日)

◆全体会

◆講演「高校における職業教育の意義と課題」 本田由紀氏(東京大学大学院教育学研究科教授)

●**主な内容**：高度経済成長期に形成された「戦後日本型循環モデル」の説明があり、このモデルは教育・仕事・家族という3つの異なる社会領域の間をむすびつけていたことを特徴とするが、このモデルがバブル崩壊後次第に破綻してきている。こうしたなかで、新たな循環モデルが必要となり、「柔軟な専門性」という方向性が形成される必要があるとしている。

特に、福祉分野の教育では、実習において現実の福祉職場を経験することにより、自身の適正や志望と専門分野や進路とのすり合わせが具体的になされている。このように、「職業的意義」の高い教育とは、学ぶことの本質的意味の実感を高め、共に学ぶ仲間との共同性を形成し、現実的な進路選択を促進するといった、様々な側面で有効性をもつことが期待される。それは「戦後日本型循環モデル」とその破綻の中で見失われ損なわれてきた教育と職業との関係を立て直してゆく上でも、大きな重要性をもつ。

また、福祉という分野は家族や地域社会の荒廃が進む状況のもとで、それを支え人々の関係性を編み直してゆくという、新たな社会モデルにとって肝要な役割を果たしている。そして、他者の立場にたって彼らが必要とする支援を適切に差し出すという福祉の「マインド」とそのための知識・スキルを若者に伝えることは、「職業的意義」よりもさらに広い「市民的意義」をもつ教育を行うことでもある。

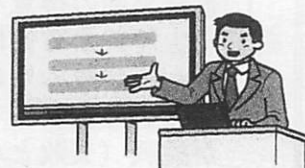
◆パネルディスカッション

「新しい福祉社会における福祉教育を展望する」

パネリスト：本田由紀氏(東京大学大学院)
福原佐知子氏(群馬県立吾妻高等学校)
三井田真由美氏(順天高等学校)
岡多枝子氏(日本福祉大学)

はじめに、高校現場からの報告で、福原先生から「地域社会に貢献する介護福祉士の育成を目指して」と題する群馬県立吾妻高等学校福祉科の取り組みに関する報告、次に三井田先生から「順天中学・高等学校における福祉教育」と題して、普通科における福祉教育、特にボランティア活動についての報告があった。そして、岡先生から「青年期に『福祉を学ぶ』意味を問うー福祉系高校のレリバンスー」と題して、福祉系高校生への質問調査から実態と福祉を学ぶ意義についての考察の報告があった。

3本の報告ののち、各パネリストへの質問も含めて、福祉教育について考える機会となった。福祉系高校だけでなく、普通科高校の取り組みなど参考となるところが多々あった。



☆第2日(1月8日)

◆模擬授業

○高校における授業

①コミュニケーション技術

②介護課程

○大学等での授業

③地域福祉論

◆高校における福祉教育の動向

情報提供 矢幅清司氏(文部科学省)

◆意見交換

①矢幅清司氏

「高校における福祉教育の動向」

②田村正広氏(日本社会事業大学)

「若者が福祉を学ぶ意味」

③加山弾氏(東洋大学)

「地域福祉論」

文部科学省の矢幅先生の情報提供については、資料<教科「福祉」と高等学校「福祉関連学科」基礎資料平成24年1月8日改訂>を参照してください。特に、いま一番知りたい介護員養成初任者研修については、現時点では12月26日の研修会でお知らせしたことを超えるものではありませんでした。また、情報提供として各地の学校の取り組みが紹介されました。(三重県立伊賀白鳳高等学校、大阪府立淀商業高等学校、宮城県立迫桜高等学校など)

編集後記：福祉教育部会の研修会が開かれ、参加できなかった先生方にもその時の様子がわかっていただければと思って作成しました。福祉科の教員は一人という学校もあると思いますので少しでも参考になれば幸いです。2号以降も続けて発刊できるようにお互いに頑張りましょう。情報等ありましたら、ぜひお知らせください。

東洋大学での研修会は久しぶりの大学での講義で、昔とは大違いのたいへんきれいな教室で講義でした。(松戸向陽M)